



桜健康映画シリーズ

厚生省推薦

文部省選定

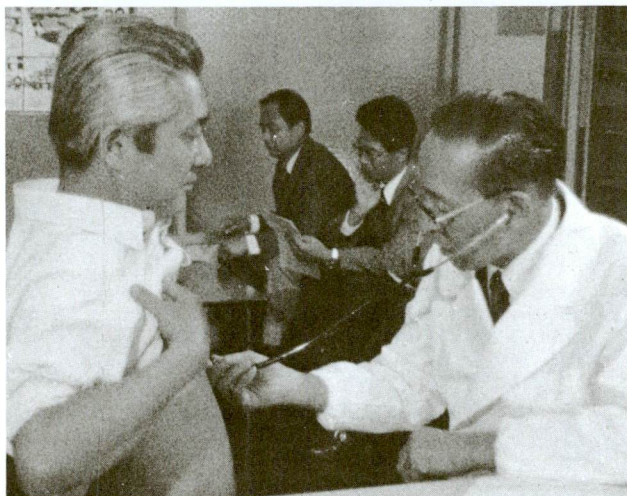
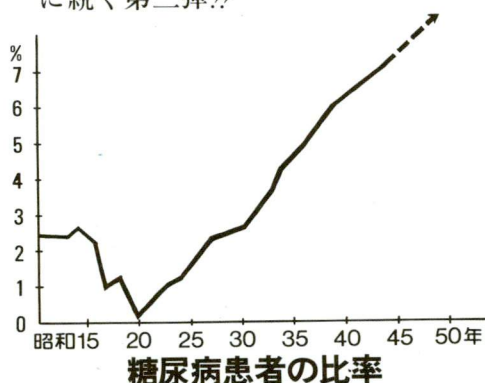
糖尿病の予防

16mm カラー28分 180,000円

文明病ともよばれ、年々増えている糖尿病——、糖尿病に対する知識は意外に知られていない。

この映画は糖尿病の実態とともに、合併症の恐しさを描き、また、はじめて低血糖障害に映画でふれた。

早期発見、早期治療こそ唯一の予防方法と呼びかける「成人病の予防」に続く第二弾!!



□製作意図

糖尿病は成人病の中でも発病率が高く、脳卒中などの合併症として存在することが多い。

この映画は、一般の人びとに糖尿病の基礎的知識を与え、定期的健康診断の必要性を覚え、もし、病気が発見された場合はどうするかを示唆する。そして早期発見、早期治療に心がけ、重症化への道を早く断つ事の重要性を広くよびかける。

□対象と用途

対象—一般成人、各団体指導者、施設、機関、企業の管理者、社会教育指導者、職場リーダー。

用途—健康、体力(保健・衛生)、市民教育。

□利用方法

学級講座、団体、グループでの学習主題「糖尿病の予防」「糖尿病についての正しい知識」などの教材。

団体リーダー、施設、機関、企業の管理者、社会教育指導者、職場リーダーの研修会、講習会等における「糖尿病の予防と生活管理者」等の資料。

映画会—社会教育施設、機関、団体、PTA、町内会等各種成人団体の主催する「成人病予防——映画の集い」に上映して、成人病の予防と生活管理に、一般市民の啓発活動に利用する。

■原案・指導

東京女子医科大学糖尿病センター所長

平 田 幸 正

■協力

(財)太田総合病院附属さきはら病院

(財)神奈川県予防医学協会

山梨県北留郡上野原町

■製作スタッフ

製 作……村 山 英 治

脚 本・演 出……村 山 山 間

撮 影……村 山 山 間

照 明……石 橋 正 和

■協賛

中 外 製 薬 株 式 会 社

製 作

株式
会社

桜映画社

東京都新宿区西新宿1-22-1
スタンダードビルTEL(342)5768

取扱店



□あらすじ

会社の健康診断で糖尿病の疑いがあると注意された私は、早速に専門医を訪ねた。

医師は尿に糖が出たから糖尿病と速断するのは危険だといいい、「なぜ尿に糖が出るか」説明してくれた。膵臓の中のランゲルハンス島といわれる内分泌腺から分泌されるインスリンというホルモンがある。このインスリンは自動車であれば、潤滑油のオイルに当るもので、これが不足すると当然障害が起こるわけである。インスリンの不足は、体の中の物質の代謝を乱し、血糖（血液中のブドウ糖）が高くなって、尿に糖が出てくるのである。この状態を糖尿病という。血糖の標準は、普通100ミリ前後、170ミリがそのしきい（上限）で、これを超すと糖が排出される。

私には自覚症状がない。もっと悪くなると、①だるくなる②疲れやすい③口が渇く④水が飲みたい⑤トイレにたびたび行く⑥肥った人がやせてくるとい症状が現われる。インスリンが極度に不足してくると、意識不明昏睡状態になり、手当てが遅れると死に至る。

しかし糖が出て糖尿病でない場合がある。ひどく興奮したり、心配ごとがあったり、胃の手術後とかストレスや妊娠でも一時的に糖が出る。気をつけなければならないのは、腎性糖尿といって生まれつき糖の出る体質の人の場合である。尿に糖が出ているからと糖尿病の薬を飲んで一週間、急に意識を失って大さわざになった婦人があった。ブドウ糖の注射で簡単に意識を回復したが、薬によって血糖がさがりすぎ、低血糖をおこした例である。低血糖昏睡を長く続けると、脳障害を超して、廃人同様になる恐れがある。

私は、ブドウ糖負荷試験、血糖検査、合併症有無の検査をうけた。その結果、私の場合糖尿病の初期で合併症はないということが診断された。糖尿病はうっかり放っておいて重症化すると血管障害（失明、尿毒症）や神経障害（下肢の神経痛、手足のむくみ）、知覚障害（エソ）を起こしたり脳卒中や心筋硬塞という合併症を起こしたりもする恐い病気である。

私は、早速治療をはじめた。ふとりすぎ解消が第一の目標である。素質もあるのだが食べすぎや肥りすぎで、インスリンが大量に必要となり、インスリンの不足を起す事が、成人型の糖尿病の大きな誘因となっているという。

食品交換表によって栄養のバランスと量に注意し（食事療法）適度の運動で標準体重に近づける事（運動療法）が、私のような軽い糖尿病をこれ以上悪くしないで治った状態へもっていく第一の方法であると知り家族の協力を得て、実行にとりかかった。

昼食は持参、できるだけ多く歩く、趣味や好みに制限はないが度を過ぎぬこと、精神的にも肉体的にも安定した生活をする……。

その後の検査で糖はほとんど出なくなった。早期発見早期治療の大切さをしみじみと味わったのである。

□話し合いの要点

1. 事前の話し合い

- 1) 「糖尿病ってどんな病気？」と問題を出して学習者の知識を一応整理してみる。
- 2) その中で疑問点や話し合われた事例の示す意味を提示して、映画で理解していくポイントを明らかにしておく。

2. 映画について

説明形式をとっているのて、内容を事項別に要点をつかみ、前後の関係を明らかにして意味を把握しながら、糖尿病の病状、原因、状況、治療、留意点、予防法を理解する。

3. 内容の研究

次の問を話し合いの手がかりにする。

- (1) 尿に糖が出るのはなぜか。（膵臓のランゲルハンス島から分泌されるインスリンの作用、その不足による状態、極度に不足した場合は？血糖の標準としきいの関係を図解して明確にする）。
- (2) 糖尿病の自覚症状とはどんな状態か。
- (3) 糖尿病でなくとも尿に糖が出る場合があるというが、どんな場合だろうか。
- (4) 尿に糖が出たからと糖尿病の薬を飲んで死にかかった婦人の例は、どういうことを示しているのか。低血糖とはどのことか。
- (5) “私”は専門医のところでどんな検査を受けたか。合併症の検査はどんな検査を受けたか。合併症の検査はどんな意味があるか。
- (6) 糖尿病によって起きる血管障害、神経障害、知覚障害、その他に属するそれぞれの内容を画面を想起したり、映画メモをたよりに列記して、そのこわさを実感をもって確かめよう。
- (7) “私”のように肥り過ぎは糖尿病に関係があるというが、どうしてか考えてみよう。
- (8) 標準体重に近づくにはどんなことをするか。
- (9) 糖尿病にかかりやすい体質の人とはどんな人か。
- (10) 食べ過ぎが糖尿病に深い関係がある具体例を挙げてみよう。
- (11) “私”は病院に教育入院してどんな治療を受けたか。食事と生活にわけて整理してみる。
- (12) 現代の社会生活は糖尿病にかかりやすい条件の中でおこなわれているというが理由？
- (13) こんな人は検尿の要ありという、それはどんなことか。

4. まとめ

- (1) インスリンのはたらきとその影響？
- (2) 尿に糖が出て糖尿病でない場合は？
- (3) 糖尿病の恐しさ。
- (4) 治療と予防？

□留意点

- (1) 質問用紙を配って参加者の問題意識をつかんでおき、専門家の解答を得たい。
- (2) 話し合いや講演の要点をOHPなどに提示して確実に把握させたい。

桜健康映画シリーズ

成人病の予防

脳卒中や心臓病の原因となる高血圧症を中心に、その原因と予防対策、日常心がけるべき健康管理をわかりやすく解説。「糖尿病の予防」とともに是非御利用下さい。カラー 28分